平成２９年３月３０日

英国のＥＵ離脱に関する政府タスクフォース
第五回会合の開催について

１．　趣旨

英国のＥＵ離脱に関する政府の対応について検討するために，３月３０日，英国のＥＵ離脱に関する政府タスクフォース第五回会合を開催。

２．　タスクフォース出席者

議　長	萩生田　光一	内閣官房副長官
副議長	古谷　一之	内閣官房副長官補
	兼原　信克	内閣官房副長官補
構成員	新原　浩朗	内閣府　政策統括官（経済財政運営担当）
	森田　宗男	金融庁　総括審議官
	武田　博之	総務省　大臣官房総括審議官（国際・郵政）
	山野内　勘二	外務省　経済局長
	宮川　学	外務省　欧州局審議官
	岸本　浩	財務省　大臣官房審議官（関税局担当）
	椎葉　茂樹	厚生労働省　大臣官房審議官
	水田　正和	農林水産省　大臣官房総括審議官（国際）
	嶋田　隆	経済産業省　通商政策局長
	掛江　浩一郎	国土交通省　大臣官房審議官（国際）
	其田　真理	個人情報保護委員会　事務局長

３．　第五回タスクフォースの概要

（１）　２９日の英国によるＥＵ離脱通知を受け，英国のＥＵ離脱に関するタスクフォースの第五回会合が，議長である萩生田官房副長官の下，１０関係府省庁等が出席して開催された。

（２）　同会合では，各府省庁から，英国のＥＵ離脱通知を始めとする，これまでの展開について得られた情報や現時点の分析について報告があり，今後の働きかけの方針について検討を行った。

（３）　萩生田官房副長官からは，今般，英国がＥＵに対し正式に離脱する意思を通知したことで，離脱条件等に関する両者の交渉を経て，英国はＥＵを離脱することになる見込みだが，今後の交渉は困難な道のりになるとの見方もあり，多数の日系企業が現地に進出している我が国や世界経済にとっても，引き続き予断を許さない状況であると述べた。

（４）　また，萩生田官房副長官から，今後引き続き情勢を注視していく必要があり，第一に，ＥＵ側の交渉方針の策定を始め，英国ＥＵ間の交渉がいかなる形で進められていくことになるのか，関連情報の収集に努めること，第二に，日系企業を始め所管の業界等が有する懸念・要望の把握，企業への情報共有及び適切な形での支援について一層万全を期すこと，第三に，本タスクフォースの大きな成果である「英国及びＥＵへの日本からのメッセージ」を基調としつつも，今後の離脱プロセスの展開に応じ，柔軟かつ機動的に英国及びＥＵに対して働きかけていくよう指示があった。

（了）